

会 議 録

会議の名称	平成23年度 第2回 大内地域協議会
開催日時	平成23年 9月14日(水) 午後2時～
開催場所	大内農村環境改善センター
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	鈴木久雄 大竹鉄男 戸堀恵子 田口正夫 小笠原良一 阿部順子
会議次第 1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 協議 (1) 災害に備える自主防災組織について (2) 由利本荘市消防庁舎建設について (3) 由利本荘市ごみ処理施設の整備方針について (4) 公共交通環境整備事業について 4. その他 ○ 各課からの連絡事項 5. 閉会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿（42名）

委員(24名)		
1	会長	佐々木盛三
2	委員	佐々木ハツ
3	〃	鈴木郁夫
4	〃	鈴木宏規
5	〃	佐々木源治
6	〃	中村勝男
7	〃	工藤 榮
8	〃	佐々木廣二
9	〃	佐々木浩
10	〃	菊地敬作
11	〃	佐々木多悦
12	〃	佐々木文勝
13	〃	齊藤貞雄
14	〃	布施隆子
15	〃	小嶋 宏
16	〃	佐々木正男
17	〃	伊藤直子
18	〃	富士盛久美子
19	〃	東海林重
20	〃	堀川一博
21	〃	東海林長子
22	〃	堀 隆一
23	〃	佐々木耕市
24	〃	鈴木鋭一

職員(18名)		
1	危機管理課 課長	遠藤正彦
2	消防本部 消防長	伊藤敬一
3	消防本部 政策監	工藤康治
4	消防本部総務課 次長兼課長	佐々木輝一
5	消防本部総務課 主席参事兼課長補佐	畠山 操
6	生活環境課 次長兼課長	真坂誠一
7	生活環境課 主査	長谷部浩司
8	清掃事業所 所長	村井恭輔
9	清掃事業所 参事兼専門技術員	伊藤成一
10	大内総合支所長	伊藤鋭一
11	振興課 課長	松永 豊
12	市民福祉課 課長	山口光也
13	産業課 主幹兼課長	吉尾金雄
14	建設課 課長	佐々木藤悦
15	教育学習課 課長兼公民館長	加藤 均
16	上川大内出張所 主席参事兼出張所長	星川 謙
17	事務局 主査	田口俊一
18	事務局 主査	佐々木竜

会議の経過

第2回大内地域協議会

平成23年9月14日（水）

午後2時00分 開会

午後4時40分 閉会

1. 開会（進行：振興課 田口主査）

2. 会長あいさつ

●佐々木（盛）会長

今日は皆様大変御苦労さまでございます。ご案内を差し上げたところご出席いただきましてありがとうございます。

本日の案件につきましては、既に資料が送付されておりますが協議案件が4つとなっております。1番から3番までは本庁からみえられている職員からの説明となります。

4番ですが既にご承知のとおり羽後交通バスの廃止路線に伴うコミュニティバスの関係について、大内総合支所の担当者が説明をいたしますので、皆様方からご意見等をお願い申し上げます。

●職員紹介及び日程説明（振興課 田口主査）

3. 協議

①災害に備える自主防災組織について

●佐々木（盛）会長

それでは早速協議に入りたいと思います。

協議の1番の災害に備える自主防災組織についてご説明をお願いいたします。

●災害に備える自主防災組織について説明（危機管理課：遠藤課長）

危機管理課より説明

●佐々木（盛）会長

只今、自主防災組織についてご説明していただきましたが、これについて皆様方からご意見ご質問等ありましたら伺いしたいと思います。

●A委員

以前、実際にあったことなのですが、国道7号線が不通になりまして迂回する車がたくさん連なったのですが、その時に私たちが出て経路の説明したわけですが、この私たちの説明も正式なルートではなかったもので、ほんとに通行可能なルートなのか心配でありました。行政に問い合わせても指示がないし、消防も見えなかったです。

そういったことも踏まえ、大津波でなくても7号線が寸断した場合等の情報網の確立・開示・指示系統の確立をきちんとしてもらいたい。

説明者（危機管理課 遠藤課長）

自主防災組織とは違った災害一般の対応の話だったと思いますが、たしかに災害時には情報伝達、指揮命令系統が重要なものとなりますので、おっしゃるとおり今後、我々も精度を上げてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

●B委員

自主防災組織を作り来年の春までには連絡協議会を組織したいようですが、しかも届出制という話もありました。これをやるには市の方から何か説明や連絡があるのでしょうか。

説明者（危機管理課 遠藤課長）

申し訳ありません、少し説明不足でした。今日は地域協議会ですが、今後町内会長さん方の会議もありますので、自主防災組織の考え方や様式等を提示したいと思います。

●C委員

町内会単位で組織を作ることになるわけですが、3月の地震のように電気が止まれば、何も連絡・情報が入ってこない大変不便な状況でした。

ですので、自主防災組織を作るにあたりましては、トップの人に連絡がつけれるような体制、話によれば衛星電話は通じたということも聞きましたので、そういった点を確認して、町内会長の会議に向けて進めてもらいたいと思います。

説明者（危機管理課 遠藤課長）

今の衛星携帯電話の件ですが、由利本荘市内400人以上います町内会長さんに衛星電話ということも無理ですから、いずれにしろ紙渡しでもいいので町内の皆さんに早く災害情報が伝わる仕組みを早急に作りたい考えております。

●D委員

今まで3人の方々から質問なり説明がありましたが、なんで今さらこういうことをやるのかと実は思いました。由利本荘市になる前の大内町時代では災害等の連絡網が出来ており対処していました。

うちの町内は大雨で孤立する所です。合併前は役場の職員なり消防なり、場合によっては町議会議員が見回りをしていました。今回6月の大雨の時はそういう状況はなかったです。昔は大内ではきちんとやってきたが今さらこのようなことをやるようでは時代遅れではないか。昔のような対応をする体制が整っていない、現場の状況・過去の実態を踏まえ、きめこまかな対応するようなことをしないといけないのではないかと、今感じたことを申し上げます。

説明者（大内総合支所 伊藤支所長）

6月の大雨の被害についてですが、危機管理課は由利本荘市のまとめ役ということでありまして、大内総合支所としては24日深夜から2～3日間位各地域を巡回しております。建設課においては道路・河川・橋梁等を確認、産業課では農地・水路・林道等を確認、市民福祉課は床上浸水の消毒等速やかに対応したと思っておりますけれども、なかなか広範囲にわたる災害となったため、行き届かなかった部分があるとすればお詫びいたしますとともに今後は十分に体制を整え進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

●佐々木(盛)会長

先ほどD委員が言われたように、今回のように災害が発生した時の対応がなっていないように感じました。いち早く現場を回って、状況を見るということが足りなかったのではないかと感じますが、先ほど支所長からは十二分に対応したとの事ですので、私達の方が反省しなければと感じたことを申し上げたいと思います。

●E委員

昭和56年頃、今は亡き〇〇さんという方が大内町内の危険個所の把握、非常食になりそうな商品を売っている店の調査等をした経緯がありまして、その時私も依頼されて調査をしてデータを提供したことがありました。そういうようなモノが万全とは言いませんが大内流のようなデータを活用しながら、組織の指示系統にうまく利用したら良いのではないのでしょうか。本荘の方からの一方的な考えでなく、それぞれ地域の特性を勘案し、過去の経験を踏まえながら危機管理の体制を作っていけばいいのではないかと思います。

説明者（危機管理課 遠藤課長）

おっしゃる通りです。今までの蓄積された総合支所単位の防災知識を十分に活かしながら今後の由利本荘市としての災害対応にあたっていきたいと思いますので、ご協力お願いしたいと思います。

●F委員

昨年のお盆なのですが高尾地区で災害が起きたのですが、ところが上川大内地区では何もなかったものですから、上川大内地区の職員は災害を知らなかったという時がありました。大内は災害が多いところなので、総合支所の人数が減っていく中で自主防災組織を立ち上げるには町内会長の協力なくして大内の災害対応ができないと思いますので、きめこまかい情報を得ながらやっていかなければならないと思います。

●佐々木(盛)会長

いずれ自主防災組織については、後日町内会長会議で詳しく説明するということでご了承していただけますでしょうか。他に質問はございませんか。

●G委員

水害や地震時の避難する場所等は皆さんわかっているもののでしょうか。また、自主防災組織は今後、きめこまかにやられると思われませんが、年配の方々が増えてくる中で、自助だけでは無理な世帯が多いと考えられます。公助がなかなか期待できない、期待してはいけないんだと思わざるを得ないことばかりですので、一番大事なのはこの共助ではないかなと思います。その際、地域の町内会長さんや集落でも行政の指示・判断を仰がなくてもできるような体制を作っていただきたいと思います。

説明者（危機管理課 遠藤課長）

まさしくおっしゃるとおりです。だんだん高齢者が増える中、共助の部分これを強力に進めていかなければならないと思います。そういう意味では町内会長さん・町内役員さん・防災関係の担当になられた方にはご難儀かけることになるのですが、そういった対応をお願いしたいと思います。また、これに伴う経費等のことですが、市としてどうすべきかということは今後検討すべき課題と捉えていますので、御理解をお願い申し上げます。

●説明者（大内総合支所 伊藤支所長）

避難場所と避難施設の問い合わせがありました。昨年の6月にくらしの便利帳の冊子に各地域の避難場所等を記載しておりますので、確認していただきたいと思います。

●佐々木(盛)会長

それでは自主防災組織についてはこれで終了したいと思います。次に由利本荘市消防庁舎建設についてご説明お願いいたします。

②由利本荘市消防庁舎建設について

●由利本荘市消防庁舎建設について説明（消防本部 伊藤消防長 佐々木次長）
消防本部より説明

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。

現在の庁舎は老朽化しており、耐震調査では地震があれば倒壊の危険性があるので新しく庁舎を平成26年までに完成したいとの説明でありました。市議会の方で十分に協議した結果で決定になったもので、こういう計画でまいりたいということなのですが何かご質問ありますでしょうか。

※ 質問無の声

●佐々木(盛)会長

質問無いようですので消防庁舎の建設については終わります。次に由利本荘市ごみ処理施設の整備方針についてご説明お願いいたします。

③由利本荘市ごみ処理施設の整備方針について

●由利本荘市ごみ処理施設の整備方針について説明（生活環境課 真坂次長 長谷部主査）
生活環境課より説明

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。

説明ありましたが結論としては二つある清掃センターを本荘清掃センターに1本化する。また本荘清掃センターを新設でなく基幹改良によって経費を削減、しかも工事期間も短縮して整備していくことの方針のようであります。
何かご質問ありますでしょうか。

●F委員

ごみの量としてはどのようなものでしょうか。減ってきているのでしょうか、横ばいの状況なのでしょうか。

●説明者（生活環境課 真坂次長）

ごみ焼却の量としては、合併当初から比較しますと1割程減ってきております。

●H委員

現状のままでやるようですが、修繕とか新しい機械を入れる時等はその施設はストップするのでしょうか。

●説明者（生活環境課 真坂次長）

修繕につきましては、今本荘清掃センターには2つの焼却炉があります。基幹改良では1つずつ直していくので、もう1つは可動することになります。

●I 委員

私どもはごみ問題やCO₂問題等に関心持ちたいと思ひまして、昨年エコの勉強会でごみ処理施設を視察したのですが、もっとも多いごみが衣類や紙でありました。紙のほとんどは再生できるわけですが、各家庭が別けて出すことによって量が少なくなると思ひます。また衣類ですが、平成8年に工業団地にできた本荘クリーンセンターの設備では石油製品や衣類から再生して、固形燃料にして県外に出荷している話を聞きました。そういったことについては市ではクリーンセンターの活用、ごみとして焼却するよりはそういった所にやって燃料化して使えるようにするのが大事だと思うのですが、市では検討したのかどうか、お金がなくて出来ないのか、市と業者の連携はどうなっているのかお聞きしたいのですが。

●説明者（生活環境課 真坂次長）

ごみの排出量そのものはだんだん減ってきているのですが、なかなか資源の方に回らないことが悩みであります。

これからは分別の方法や仕方の見直しの時期にきているのかと感じています。ただ、なかなかすぐという形にはいかないものですから我々の方でもいろいろ研究させてもらっていますけれども、一つは生ごみにつきましては堆肥化にする研究を進めさせていただいております。また、油につきましてもBDF、ディーゼルエンジンの燃料に使いたいということで、こちらを進めております。

ただ、昨年度資源ごみの区分を新たに設置したのですが、なかなか分別が進まないというのが現状にあります。特に事業者の方から出るゴミが資源に回らないで、直接焼却の方に回ってしまう、再生に回っていかない現状をふまえ、一般家庭からのごみの分別と事業者からのごみの再生利用についてもこれから検討してまいりたいと思ひますので、もう少し時間をお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

●I 委員

本荘クリーンセンターについてはどう考えていますでしょうか。

●説明者（生活環境課 長谷部主査）

本荘クリーンセンターの活用ですが当然民間の事業所ですので有料となります。また、市の施設を利用するよりもやはり設備とコストが高くなっておりますので、そういった点を研究しないといけないので、なかなかすぐに利用するというにはならないと思ひます。まあ提案としては研究しないといけないなと思ひますのでしばらくお時間をいただきたいと思ひます。

●佐々木(盛)会長

ありがとうございました。

それではごみ処理施設の整備方針について他に何かありますか。

無いようですので終わりたいと思ひますが、ここで5分間の休憩いたします。

休憩

④公共交通環境整備事業について

●佐々木(盛)会長

それでは休憩前に引き続きまして会議を再開いたします。公共交通環境整備事業について担当職員よりご説明をお願いいたします。

●公共交通環境整備事業について説明（振興課 松永課長）

振興課より説明

●佐々木(盛)会長

只今、説明ありましたが皆様方何かご意見ご質問等ありますでしょうか。

●J委員

バス路線とは関係無い話になりますが、学区制はきちんと拘束されているものでしょうか。例えば上川大内地区の小学校を卒業した子供が出羽中に行きたい場合はいわゆる学区制はどうなるのでしょうか。

●説明者（教育学習課 加藤課長）

町内単位によりどの学校に行くかは決まっております。学校を変える場合はあくまでも住所を変えるということが必要ですけれども、それ以外に変える条件は例えば、その学校に入ることが非常に本人にとって苦痛であるとか、家庭の事情で入れない場合等、様々な要因がありますけれども、その学校に通うことが非常に難しいことを、教育委員会で認めた場合のみ可能です。

●K委員

曲沢のバス停が廃止により必要でなくなるので、滝側の方に移動してもらえれば安全も確保されるのではないのでしょうか。

●説明者（振興課 松永課長）

そういう件につきましても羽後交通といろいろ協議してございますので、それらの部分も含めまして検討していきたいと思っております。

先ほど言い忘れたので補足させていただきますけれども、羽後交通との協議の中で高尾線につきましても金崎とぼぼろっこの間はクローズド・ドア方式ということでこの運行区間は乗り降りできないと話をされております。ただ、高尾から乗車した方が三川の伊藤医院に行きたいと思った時に、降りられないのでぼぼろっこまで行ってわざわざ戻ってこなければならないのかという話になります。そういう理由を付けてなんとか降ろすだけでも了承をお願いしたいと羽後交通に協議したいと思っております。

更には羽広線につきましても本来は葛岡のコミュニティセンターまでお願いをした経緯がございました。というのは羽広線で板井沢の伊藤医院に行きたいという人をすぐ目の前で降ろして連れていかれないという話ができるのかということで、羽後交通になんとかお願いした経緯がございましたが無理でありました。

まず今回は涙を飲んで上川大内出張所に落ち着いたものであります。今後も先ほどの葛岡延伸や医院前の乗り降りの件について再度要望してなんとか実現できるように更に協議してまいりますことを追加させていただきます。

●J委員

加賀沢のバス停は雨をしのぐものが無くバス停として価値が無いように思えますので、立派でなくてもきちんとしたバス停は必要だと思います。

●説明者（振興課 松永課長）

加賀沢のバス停以外でも、前のふるさと創生で建てたログハウス風のバス停が相当痛んでおります。それら含めた上で補修していかなければと思っていますので併せて検討していかなければと思っています。

●F委員

バスの乗降に際して、運転手にわかるようなシステムはつけるのでしょうか。

●説明者（振興課 松永課長）

料金の収受箱等も含めて改造費用は盛り込んでおりますけれども、軽井沢線につきましてはマイクロバスと同じ形態でありますから、これを有償化にしていく段階になった時に今新しく購入しようとするコミュニティバスと同じような形態にできるかというとなかなかそうはいかないのではないかと思います。

●E委員

まず、実際にやってみて地域の方々の声・反響・意見を聞いてみて最大限のことをやっていただきたいと思います。

●佐々木(盛)会長

そういうことでやってみた上で改良したりして、対処していただきたいとのことでありました。そこはどうかよろしくお願ひしたいと思います。

他になければ終わりたいと思います。続きまして最後のその他ですが各課より報告ありますのでよろしくお願ひいたします。

4. その他

①各課からの連絡事項

●振興課からの連絡（振興課 松永課長）

- ・ 自主防災組織に向けての補足説明について
- ・ 平成24年度地域づくり推進事業について

●市民福祉課からの連絡（市民福祉課 山口課長）

- ・ 再来受診用受付機の設置箇所の変更について

●産業課からの連絡（産業課 吉尾課長）

- ・ 災害の復旧対策の状況について

●建設課からの連絡（建設課 佐々木課長）

- ・ 災害の復旧対策の状況について

●教育学習課からの連絡（教区学習課 加藤課長）

- ・ 大内地域市民祭について

●佐々木(盛)会長

以上で各課長方からの連絡事項が終わりました。これについては質問等ないと思われますので、本日の会議を終了したいと思います。大変どうも長時間ありがとうございました。

5. 閉会

